

平田村 橋梁長寿命化修繕計画

令和 5 年 3 月 策 定

令和 6 年 12 月一部改正

令和 7 年 2 月一部改正

令和 8 年 1 月一部改正

福島県 平田村産業建設課

— 目 次 —

1. 長寿命化修繕計画の背景と目的	1
2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁	3
3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針	3
4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針	4
5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替時期	6
6. 長寿命化修繕計画による効果	7
7. 計画策定担当部署および意見聴取した学識経験者等の専門知識を有する者	8

1. 長寿命化修繕計画の背景と目的

1) 改定の背景

本計画は、点検や補修を定期的にかつ計画的に実施して、橋梁の痛みが小さいうちに対策を講じてできるだけ長く使うという「予防保全型管理」を基本とした施設の長寿命化を目的として平成 24 年 1 月に策定した計画である。

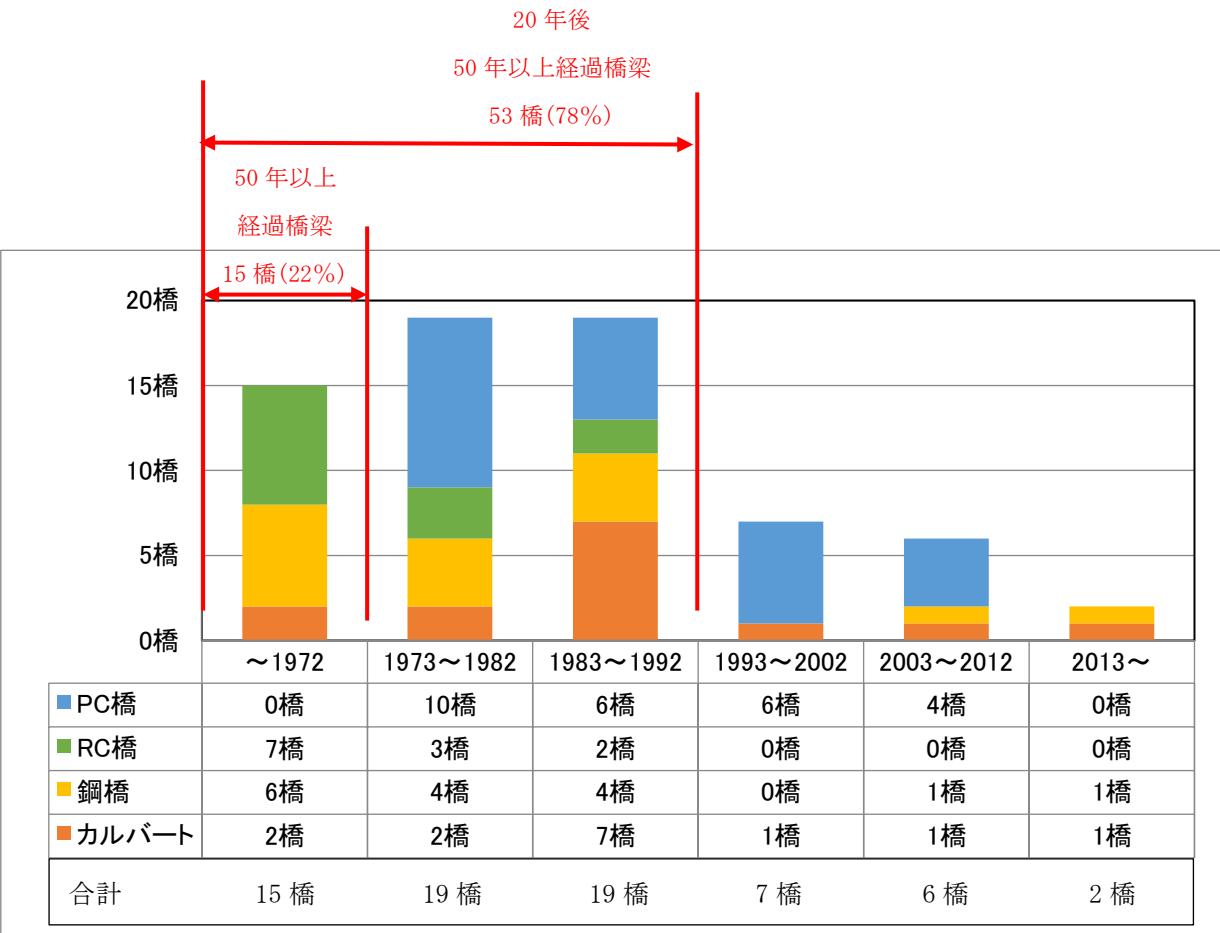
令和 5 年度改訂版は、平成 26 年度以降に実施した点検データを用いて計画の検証を実施し、本計画を見直したものである。

前回計画では当時の管理橋梁 62 橋について修繕計画を策定している。今回計画では統廃合および新橋を加えた 68 橋について、修繕計画の見直しを行う。

平田村の管理橋梁は 68 橋で村内に広く分布し、橋長 15m 未満が 45 橋(66%)、15m 以上 50m 未満が 21 橋(30%)、50m 以上が 2 橋(1%)となっておりあぶくま高原道路を跨ぐ橋梁がある。

今回対象となる 68 橋の中で供用開始から 50 年を経過する橋梁は 15 橋(22%)だが 20 年後には 53 橋(78%)と約 8 割が老朽化橋となる。

今後、急激に増加する老朽化した橋梁に対し、従来の痛んでから治す対症療法型維持管理を継続した場合、維持コストが膨大となり、適切な維持管理が困難になると想定される。

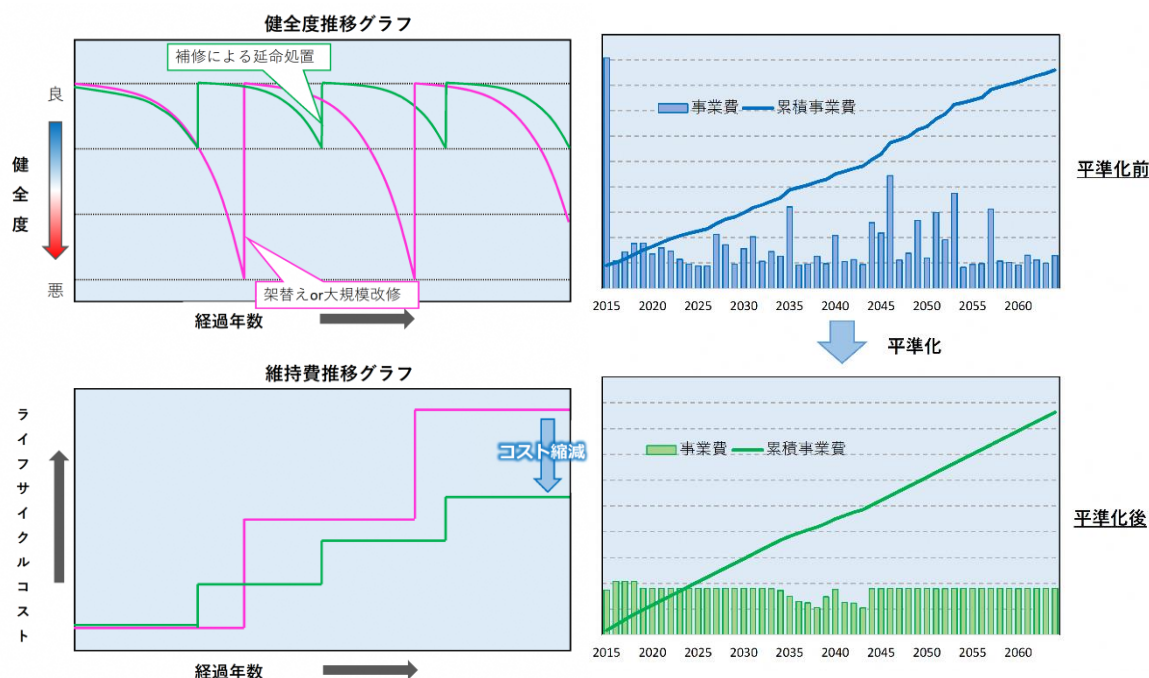


管理橋梁状況

2) 目的

【計画策定の目的】

このような背景から、限られた予算の中で適切な維持管理を行い、道路の安全・安心を確保する必要がある。従来の損傷が顕在化してから修繕を行う「事後保全型」を改め、損傷が顕在化しないうちに予防的な対策を行う「予防保全型」への転換を図り、更に橋の重要度に応じて管理水準を設定する「管理区分型」とすることで、適切な修繕対策を適切な時期に行う事業計画を策定し、維持管理コストの縮減を図る事を目的とするものである。



コスト縮減のイメージ

予算平準化のイメージ
(管理区分型)

2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁

1) 対象橋梁

平田村の橋梁長寿命化修繕計画は、平田村が管理する橋梁 68 橋を対象に計画を策定している。

項 目	1級村道	2級村道	その他の村道	合計
全管理橋梁数	8橋	9橋	51橋	68橋
計画策定橋梁数	8橋	9橋	51橋	68橋

3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

1) 健全度把握の基本的方針

健全度の把握については、法令で定められた定期点検（1回/5年）および住民による日常点検や、必要に応じて行う詳細点検により、各部材の劣化や損傷状況等を早期に把握する。

2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

管理橋梁を良好な状態に保つためには、水の影響を最小限とする必要があります。橋面に雨水が滞水することで、舗装の劣化や床版への漏水、主桁や下部工への影響など多くの損傷要因となります。滞水しないようにするためには、排水機能の確保が最も簡単で耐久性に大きく影響するものと考えられる。

平田村では地域住民のセルフメンテナンスにより、橋面上や排水柵の土砂撤去や草刈りを実施しており、橋の維持管理の向上と地域住民の橋への関心、地域との連携を図っています。（内容と効果については巻末資料「日常的な維持管理について」参照）

①職員によるパトロールの実施

着目橋梁および着目点を整理することで、パトロールの有効性を向上させる。

②各地域との連携の推進

地区ごとの住民によるセルフメンテナンスの中で橋の清掃活動を行い、地域住民の橋への関心を高めるなど、地域との連携を図る。

③住民からの情報提供制度を構築

チェックシートを活用しての住民による日常点検や災害や事故などにより橋に異常が発生した際の住民からの情報提供制度の構築を検討し、橋梁状態の把握と維持管理に役立てるものとする。

4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針

1) 管理区分の設定

修繕計画策定にあたってはコストの縮減を図るため、橋梁諸元や路線の重要度に応じて橋梁毎の管理水準を設定します。橋梁の諸元（橋長、幅員、橋種等）や環境、損傷の状況および重要度などを考慮して、以下のように管理区分を設定し、橋の長寿命化を図るとともに長期的な維持管理にかかるコストの縮減を図っていきます。

①重点管理橋梁：2 橋

一般的な予防保全対策に加え、戦略的な管理を行う。

具体的には、橋面からの漏水対策や表面保護工等の再劣化を防ぐ工法の採用と早期措置段階（区分Ⅲ）になる前に補修を行う橋梁。

選定内容・100m を超える長大橋

・跨道橋などの第三者被害予防措置を要する橋梁

②予防保全橋梁：18 橋

一般的な予防保全対策を適用する。

具体的には、橋面からの漏水対策、表面保護工等による対策を行う。

補修は早期措置段階（区分Ⅲ）になった段階で補修を行う橋梁。

選定内容・落橋時に孤立を生じさせる橋梁

・橋長 30m 以上または工場や民家から主要道へ接続される橋梁

③事後保全橋梁：37 橋

損傷が起きてから対策する、事後保全対策を適用する。

選定内容・ボックスカルバート

・橋長 30m 未満でボックスカルバートへの置換ができない橋梁

④経過観察橋梁：11 橋

更新を前提とした分類であり、更新のタイミングで橋梁の重要度に応じたボックス化や統廃合（集約撤去）を検討し、維持管理費用の縮減を図る。

選定内容・近隣に代替路がある橋梁

・橋長 5.0m 程度でボックスカルバートへの置換が可能な橋梁

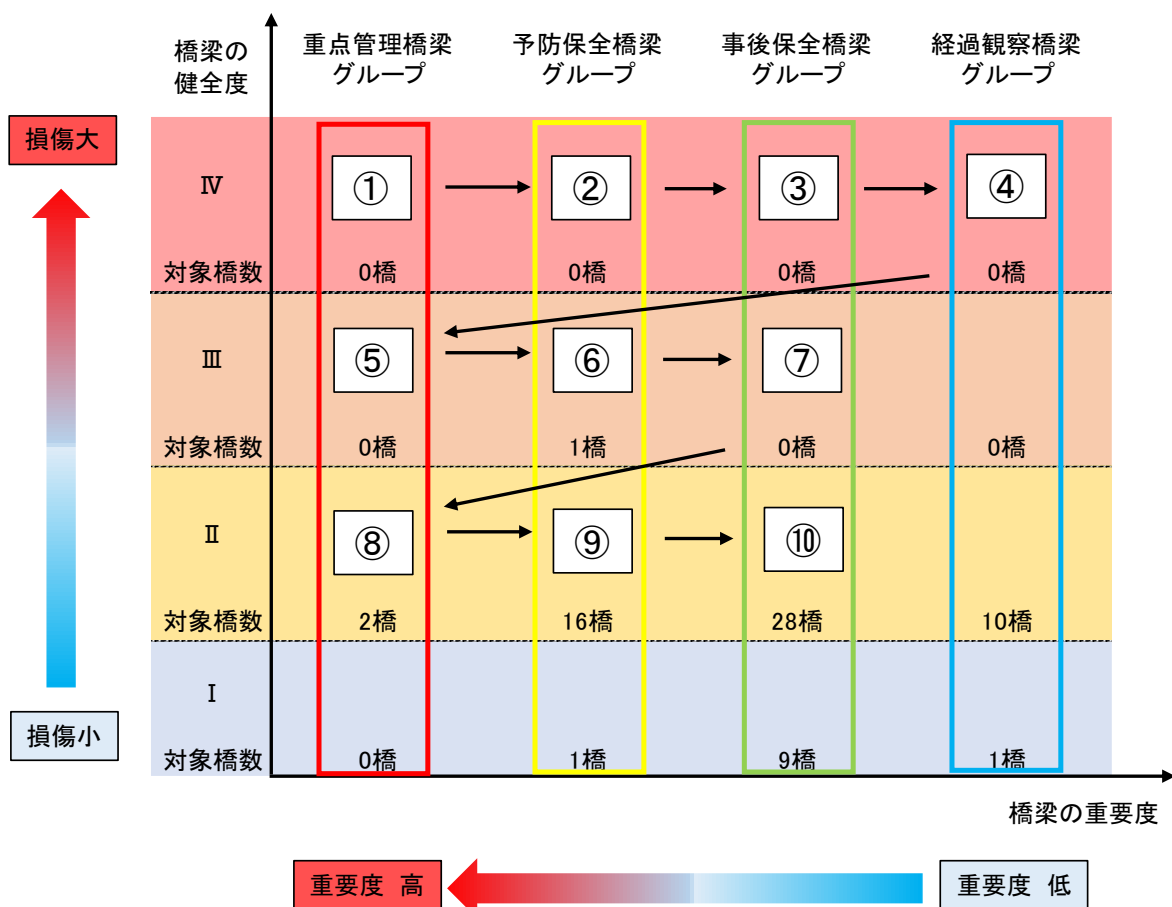
◎『集約化・撤去』に関する短期的数値目標及びそのコスト縮減効果の検証

※令和 6 年度末時点で、判定区分Ⅲとなった橋梁は 1 件のみとなっている。
この対象橋梁の集約化・撤去の検討を行った結果、公共施設等が集中する村中心部に位置しており、隣接する迂回路を通行した場合、約 6 km（所要時間 10 分）を迂回することとなり、社会活動等に影響を与えるため集約化・撤去を行うことが困難である。周辺の状況や施設の利用状況を踏まえて、令和 12 年年度までに再度検討を行う。

区分		状態
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態。
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

2) 補修の優先順位の設定（マトリクス表）

限られた予算の中で適切な維持補修を行うため補修の優先順位の決定を行う必要がある。優先順位の設定プロセスを明確化するため管理区分による桥梁の重要度を横軸に健全度を縦軸としたマトリクス表に示して総合的かつ明確に優先順位を決定した。



管理区分-健全度マトリクス表

3) 地域特性を考慮した維持管理（劣化曲線の設定）

シミュレーションで使用する劣化曲線は、国総研資料を参考にシミュレーションソフトの中で計算式が設定されています。これを一元的に適用した場合、平田村の地域特性が反映される実際の劣化度との乖離が生じます。そのため、平成 27 年度から令和 4 年度までの点検結果を基に平田村の橋梁としての劣化曲線を設定し、シミュレーションに反映した。

4) 新技術等の活用方針

UAV や画像解析による診断などが橋梁点検へ活用されており、Netis などで紹介されている新工法の中には橋梁の長寿命化や省力化などコストの縮減に有効なものも多い。本村では今後の維持管理の方針として新技術等を積極的に活用し、橋梁の長寿命化や費用の縮減を図っていくものとする。

具体的には、過去に橋梁点検を用いて点検していた橋梁（14 橋）について、UAV を用いた橋梁点検支援技術等への点検を図ることで交通規制が不要となることから、安全性の向上および点検効率向上による経済性の向上も期待できる。

目標としては令和 12 年度までの今後 5 年間の定期点検で **140 万円程度の費用削減**を目指す。

ただし、点検支援技術の適用の可否は周辺の環境条件などを踏まえて判断が必要なため、実施する橋梁の選定は点検時に判断します。

また Netis や国交省に登録されている点検支援技術性能カタログに記載されている技術にこだわらず、有用なアプリなどを活用し、更なる費用縮減や作業の効

5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替時期

平田村で管理する 68 橋について今後の点検時期や修繕内容を一覧表に整理した。内容については巻末の添付資料に示す。

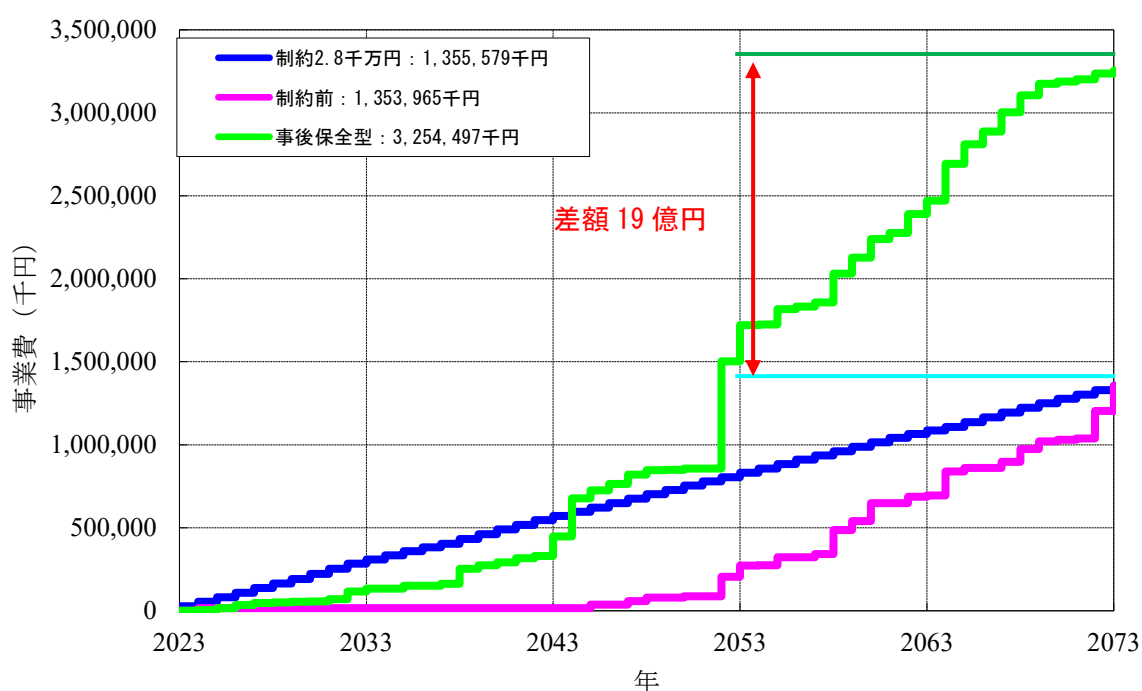
6. 長寿命化修繕計画による効果

平田村が管理する橋梁について、点検結果を基に今後 50 年間の予算シミュレーションを行い、以下の結果が得られました。

1) 長期的なコスト削減効果

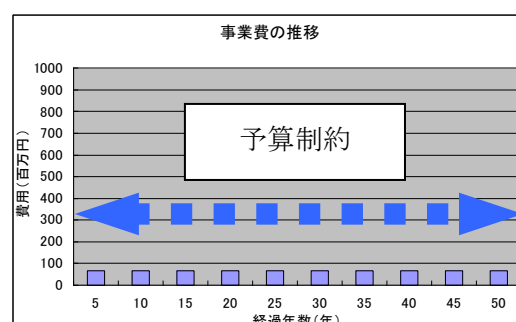
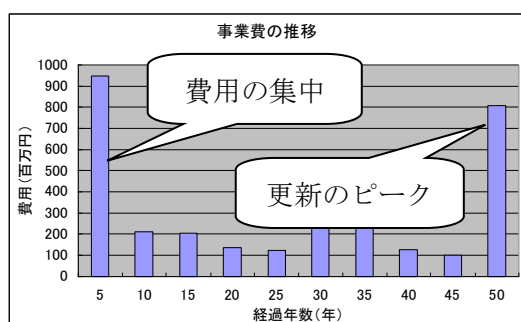
長寿命化修繕計画の基本方針に基づいて管理区分型の維持管理を実施することにより、従来の事後保全型管理を行った場合の総事業費約32.6億円から約13.6億円にコスト削減が可能となり、今後50年間で約19.0億円（58%）の費用圧縮効果が見込まれる。

シナリオごとの累計事業費用の比較



2) 予算制約の効果

長寿命化修繕計画による計画的な対策を実施することで、維持管理費用を分散化し長期的な予算の再分配を図ることが可能となります。



7. 計画策定担当部署および意見聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

1) 計画担当部署

福島県 平田村 産業建設課

TEL 0247-55-3116

2) 意見を聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

日本大学 工学部 土木工学科 いわき いちろう
岩城 一郎 教授

平田村 管理橋梁一覧表

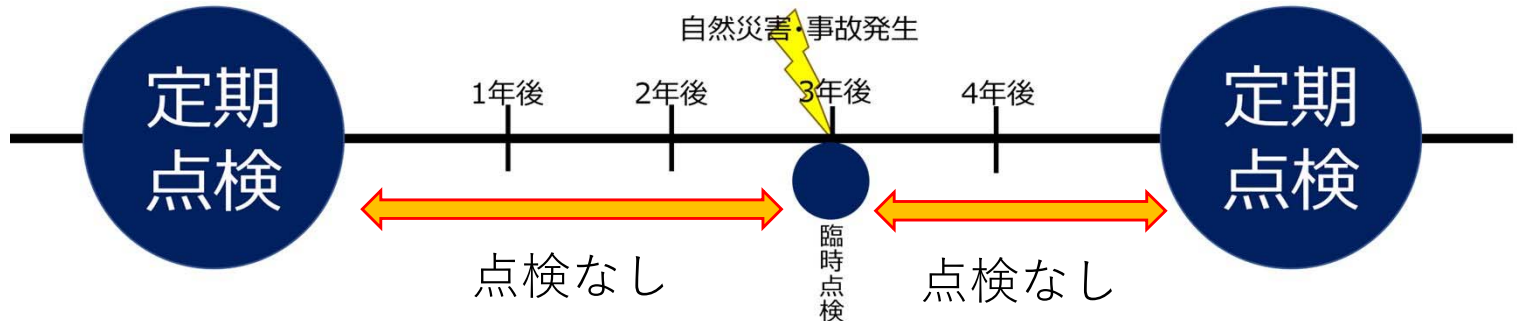
番号	道路橋名	路線名	架設年 (西暦)	橋長 (m)	幅員 (m)	橋種	所在地	点検記録	
								点検実施年	橋梁全体の 判定区分
1	23号橋	1007号線	1965	3.0	3.0	RC床版橋	大字上蓬田字通目木6	R2年度	Ⅱ
2	55号橋	1152号線	2018	2.2	5.0	ボックスカルバート	大字西山字沼ノ平1	R2年度	Ⅰ
3	32号橋	1046号線	1988	3.3	2.0	RC床版橋	大字上蓬田字石花53	R2年度	Ⅱ
4	22号橋	1007号線	1965	3.5	3.0	RC床版橋	大字上蓬田字通目木57	R2年度	Ⅱ
5	29号橋	1044号線	1967	4.0	3.0	RC床版橋	大字上蓬田字入山40	R2年度	Ⅱ
6	64号橋	1217号線	1989	4.2	3.0	ボックスカルバート	大字永田字酒州49	R3年度	Ⅰ
7	43号橋	1093号線	1967	4.3	4.0	RC床版橋	大字下蓬田国有林6林班は小班	R2年度	Ⅱ
8	30号橋	1045号線	1966	4.5	3.0	RC床版橋	大字上蓬田字入山153	R2年度	Ⅱ
9	31号橋	1045号線	1966	4.5	3.0	RC床版橋	大字上蓬田字石花11	R2年度	Ⅱ
10	39号橋	1073号線	1979	4.5	4.3	RC床版橋	大字上蓬田字下根本1	R2年度	Ⅱ
11	あゆみ橋(71号橋)	1296号線	1977	4.6	4.5	ボックスカルバート	大字中倉字加仲内5	R2年度	Ⅱ
12	きずな橋(33号橋)	1061号線	1977	4.7	4.5	ボックスカルバート	上蓬田字横森後163	R3年度	Ⅰ
13	52号橋	1135号線	1981	5.0	4.6	RC床版橋	大字下蓬田字蓬来内342	R2年度	Ⅱ
14	63号橋	1216号線	1989	5.0	3.9	ボックスカルバート	大字永田字切田144	R2年度	Ⅱ
15	44号橋	1093号線	1988	5.1	3.7	ボックスカルバート	大字下蓬田字乙空釜975	R2年度	Ⅱ
16	26号橋	1033号線	1979	5.3	4.6	PC床版橋	大字鴛子字内堀子1-2	R2年度	Ⅱ
17	46号橋	1095号線	1965	5.5	4.3	RC床版橋	大字下蓬田字乙空釜74-9	R2年度	Ⅱ
18	48号橋	1110号線	1989	5.6	4.3	RC床版橋	大字下蓬田字関根147-2	R2年度	Ⅱ
19	66号橋	1231号線	1985	5.7	4.0	ボックスカルバート	大字永田字戸花77	R2年度	Ⅰ
20	25号橋	1031号線	1980	6.2	3.0	PCI桁橋	大字鴛子字沢目木178	R2年度	Ⅱ
21	65号橋	1220号線	1990	6.2	3.0	ボックスカルバート	大字鴛子字塚田40	R2年度	Ⅱ
22	三斗蒔橋(11号橋)	三斗蒔・広平線	1978	7.0	7.2	PC床版橋	大字上蓬田字三斗蒔10	R3年度	Ⅱ
23	38号橋	1071号線	1979	7.1	4.7	RC床版橋	大字上蓬田字橋本2	R3年度	Ⅱ
24	42号橋	1093号線	2001	7.3	5.0	PCT桁橋	大字下蓬田字乙空釜975	R3年度	Ⅱ
25	12号橋	草場・乙空釜線	2019	7.5	4.6	ボックスカルバート	大字西山字煙石147	R2年度	Ⅰ
26	酒州橋(16号橋)	江名籠・酒州線	1982	8.1	7.0	PC床版橋	大字永田字酒洲127	R3年度	Ⅱ
27	24号橋	1030号線	1988	8.2	3.1	PC床版橋	大字鴛子字塚田56	R2年度	Ⅱ
28	35号橋	1064号線	1993	8.4	5.0	PC床版橋	大字上蓬田字横森前25	R3年度	Ⅰ
29	荻ノ目橋(45号橋)	1094号線	1989	8.5	6.2	PCI桁橋	下蓬田字乙空釜939	R3年度	Ⅱ
30	御坊地橋(67号橋)	1236号線	2011	9.7	4.0	鋼桁橋	大字北方字左鍛内42	R3年度	Ⅰ
31	清水内橋(37号橋)	1068号線	1979	10.2	4.0	PC床版橋	大字上蓬田字清水内9-1	R3年度	Ⅱ
32	中町橋(62号橋)	1191号線	1978	10.4	3.5	PCI桁橋	大字中倉字加畑84	R3年度	Ⅱ
33	萬霊塔橋(13号橋)	深谷・大柿線	1980	10.6	9.4	PC床版橋	大字下蓬田字石ノ川3	R3年度	Ⅱ
34	納豆橋(36号橋)	1066号線	1980	12.2	4.0	PC床版橋	大字上蓬田字清水内32-1	R3年度	Ⅱ

平田村 管理橋梁一覧表

番号	道路橋名	路線名	架設年 (西暦)	橋長 (m)	幅員 (m)	橋種	所在地	点検記録	
								点検実施年	橋梁全体の 判定区分
35	薬師地藏橋(34号橋)	1062号線	2003	12.6	8.2	PC床版橋	大字上蓬田字横森後194-4~75-5	R4年度	Ⅱ
36	沼ノ平橋(14号橋)	北田・水尾線	1984	13.8	5.0	鋼H桁橋	大字西山字沼ノ平112	R3年度	Ⅱ
37	橋本橋(49号橋)	1117号線	1972	14.4	3.2	鋼H桁橋	大字上蓬田新屋敷66	R3年度	Ⅱ
38	馬道橋(50号橋)	1119号線	1972	14.4	4.2	鋼H桁橋	大字上蓬田字橋本38	R3年度	Ⅱ
39	板堰橋(7号橋)	草場・清水線	1986	14.7	8.2	PCT桁橋	大字西山字一本内69-1	R3年度	Ⅱ
40	滝坂2号橋(76号橋)	1325号線	2006	15.2	3.6	PC床版橋	大字北方字蛇石98番地	R4年度	Ⅱ
41	逆水橋(8号橋)	逆水・論田線	1978	16.5	7.4	鋼H桁橋	大字北方字蛇石48-1	R4年度	Ⅲ
42	新日の出橋(10号橋)	千五沢・吹通線	2005	16.5	8.2	PC床版橋	大字中倉字暮坪338-3	R4年度	Ⅱ
43	広町橋(51号橋)	1131号線	1988	16.9	3.3	鋼H桁橋	大字永田字切田54	R4年度	Ⅱ
44	小館橋(19号橋)	吉野草・小館線	1983	17.2	5.5	PCT桁橋	大字駒形字小館12	R4年度	Ⅱ
45	岡谷橋(71号橋)	1282号線	1984	18.5	3.8	PCT桁橋	大字北方字桃園3	R4年度	Ⅱ
46	柳橋(58号橋)	1180号線	1978	19.0	4.0	鋼H桁橋	大字中倉字川面194	R4年度	Ⅱ
47	孫内橋(21号橋)	下田・高田線	1982	19.1	6.0	PCT桁橋	大字駒形字蕨平72	R4年度	Ⅱ
48	油畑橋(59号橋)	1180号線	1984	19.1	5.4	鋼H桁橋	大字中倉字川面439	R4年度	Ⅱ
49	滝坂橋(69号橋)	1279号線	1996	19.3	8.0	PC床版橋	大字小平字滝坂100番地先	R4年度	Ⅱ
50	下町橋(70号橋)	1281号線	1987	19.7	6.2	PCT桁橋	大字小平字小平225	R4年度	Ⅱ
51	和吉橋(5号橋)	鴛子・後川線	1971	19.8	6.3	鋼H桁(合成)橋	大字小松原字日照田292-1	R4年度	Ⅱ
52	中西橋(56号橋)	1169号線	1973	21.5	4.8	鋼H桁橋	大字中倉字広谷地363	R4年度	Ⅱ
53	霜平橋(20号橋)	下田・高田線	1985	23.3	6.2	鋼H桁橋	大字小平字下田67-2	R4年度	Ⅱ
54	川面橋(17号橋)	真弓・千保線	1972	23.5	4.8	鋼H桁橋	大字中倉字川面101	R4年度	Ⅱ
55	金吾橋(4号橋)	鴛子・後川線	2001	28.5	11.0	PC床版橋	大字永田字堂作56	R4年度	Ⅱ
56	不動橋(57号橋)	1169号線	1972	35.7	4.8	鋼H桁橋	大字中倉国有林19林班わ小班	R4年度	Ⅱ
57	鷹ノ巣弁天橋(74号橋)	1192号線	1999	41.0	9.2	PCT桁橋	大字中倉字見上	R4年度	Ⅱ
58	加畑橋(61号橋)	1190号線	1973	48.7	4.8	鋼H桁橋	大字中倉国有林20林班わ小班	R4年度	Ⅱ
59	一本ノ内橋(73号橋)	1317号線	1996	68.0	9.5	PCT桁橋	大字西山字一本内107-3番地先	R4年度	Ⅱ
60	平田大橋(9号橋)	千五沢・吹通線	1972	130.0	4.8	鋼H桁(合成)橋	大字中倉字小種石182	R4年度	Ⅱ
61	空釜跨道橋(75号橋)	1315号線	2009	23.1	10.5	PCT桁橋	大字下蓬田	R4年度	Ⅱ
62	草場橋(6号橋)	1327号線	1978	12.0	8.7	PCI桁橋	大字西山字草場181	R4年度	Ⅱ
63	佐吉橋(2号橋)	鴛子・後川線	2000	10.1	5.1	ホックスカルパート	大字永田字戸花117	R4年度	Ⅱ
64	沢名橋(28号橋)	1037号線	1987	5.2	12.2	ホックスカルパート	大字鴛子字沢名165-1	R4年度	Ⅱ
65	41号橋	1084号線	1999	2.1	5.7	ホックスカルパート	大字下蓬田字乙空釜4	R4年度	Ⅱ
66	77号橋	村道1037号線	2009	2.6	9.0	ホックスカルパート	大字九生滝字数河内469	H30年度	Ⅰ
67	1号橋	鴛子・後川線	1987	2.3	17.7	ホックスカルパート	大字鴛子字坪内135	H30年度	Ⅰ
68	山鶏の滝橋(60号橋)	1187号線	2013	15.8	1.5	鋼H桁橋	大字中倉国有林19林班る小班	H30年度	Ⅰ

日常的な維持管理について

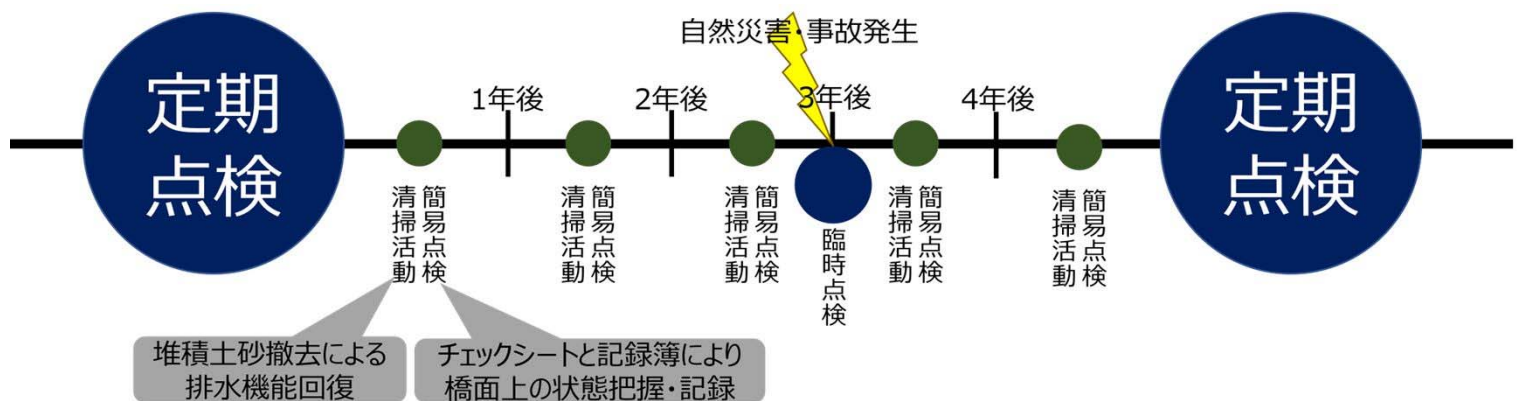
● 橋梁維持管理の現状



- ・道路パトロールなどは行っているが、定期点検間の5年間は橋梁に特化した調査、点検は行われていない。
- ・損傷要因となる堆積土砂の撤去が実施されない。
- ・災害や事故が起きた場合、臨時点検を実施するが、点検等を行っていない期間があり、災害や事故による損傷なのか、劣化による損傷なのか判別ができない恐れがある。
- ・定期点検間の損傷の発生時期や経過がわからない。





● 日常的な維持管理を行った場合


































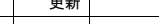









































- ・住民による日常点検により定期点検間の5年間の変状を把握可能に。
- ・毎年1回、住民による堆積土砂の撤去が行われているため、排水機能が確保された（損傷が進行しにくい）状態を保てる。
- ・災害や事故前後の橋の状況が確認できるため、状態を比較しやすい。
- ・住民の日常点検により、損傷の発生時期や経過がわかることにより、重大な劣化の兆候を把握できる。

5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替時期

凡例：  対策を実施すべき時期

 定期点検

番号	橋梁名	路線名	架設年度 (年)	橋長 (m)	対策の内容・時期									
					2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)	2032 (R14)
1	23号線	1007号線	1965	3.0										
2	55号線	1152号線	2018	2.2										
3	32号線	1046号線	1988	3.3										
4	22号線	1007号線	1965	3.5										
5	29号線	1044号線	1967	4.0										
6	64号線	1217号線	1989	4.2										
7	43号線	1093号線	1967	4.3										
8	30号線	1045号線	1966	4.5										
9	31号線	1045号線	1966	4.5										
10	39号線	1073号線	1979	4.5										
11	あゆみ橋(71号線)	1296号線	1977	4.6										
12	きずな橋(33号線)	1061号線	1977	4.7										
13	52号線	1135号線	1981	5.0				 主部材：断面修復						
14	63号線	1216号線	1989	5.0										
15	44号線	1093号線	1988	5.1										
16	26号線	1033号線	1979	5.3										
17	46号線	1095号線	1965	5.5										
18	48号線	1110号線	1989	5.6										
19	66号線	1231号線	1985	5.7										
20	25号線	1031号線	1980	6.2										
21	65号線	1220号線	1990	6.2										
22	三斗蒔橋(11号線)	三斗蒔・広平線	1978	7.0										
23	38号線	1071号線	1979	7.1				 主部材：断面修復						
24	42号線	1093号線	2001	7.3										
25	12号線	草場・乙空釜線	2019	7.5										
26	酒州橋(16号線)	江名籠・坂州線	1982	8.1										
27	24号線	1030号線	1988	8.2										
28	35号線	1064号線	1993	8.4										
29	荻ノ目橋(45号線)	1094号線	1989	8.5										
30	御坊地橋(67号線)	1236号線	2011	9.7										
31	清水内橋(37号線)	1068号線	1979	10.2				 主部材：断面修復						
32	中町橋(62号線)	1191号線	1978	10.4										
33	萬霊塔橋(13号線)	深谷・大柿線	1980	10.6										
34	納豆橋(36号線)	1066号線	1980	12.2										
35	薬師地藏橋(34号線)	1062号線	2003	12.6										

5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替時期

凡例： ← → 対策を実施すべき時期

← → 定期点検

番号	橋梁名	路線名	架設年度 (年)	橋長 (m)	対策の内容・時期									
					2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)	2032 (R14)
36	沼ノ平橋(14号線)	北田・水尾線	1984	13.8				← → 定期点検					← → 定期点検	
37	橋本橋(49号線)	1117号線	1972	14.4	← → 主部材:塗装等			← → 定期点検					← → 定期点検	
38	馬道橋(50号線)	1119号線	1972	14.4		← → 主部材:塗装等		← → 定期点検			更新		← → 定期点検	← →
39	板堰橋(7号線)	草場・清水線	1986	14.7				← → 定期点検					← → 定期点検	
40	滝坂2号橋(76号線)	1325号線	2006	15.2					← → 定期点検					← → 定期点検
41	逆水橋(8号線)	逆水・論田線	1978	16.5	← → 主部材:塗装等				← → 定期点検	← → 定期点検 床版:防水工				← → 定期点検
42	新日の出橋(10号線)	千五沢・吹通線	2005	16.5					← → 定期点検					← → 定期点検
43	広町橋(51号線)	1131号線	1988	16.9					← → 定期点検					← → 定期点検
44	小館橋(19号線)	吉野草・小館線	1983	17.2					← → 定期点検					← → 定期点検
45	岡谷橋(71号線)	1282号線	1984	18.5					← → 定期点検					← → 定期点検
46	柳橋(58号線)	1180号線	1978	19.0		← → 主部材:塗装等			← → 定期点検					← → 定期点検
47	孫内橋(21号線)	下田・高田線	1982	19.1					← → 定期点検					← → 定期点検
48	油畑橋(59号線)	1180号線	1984	19.1		← → 主部材:塗装等			← → 定期点検					← → 定期点検
49	滝坂橋(69号線)	1279号線	1996	19.3					← → 定期点検					← → 定期点検
50	下町橋(70号線)	1281号線	1987	19.7					← → 定期点検					← → 定期点検
51	和吉橋(5号線)	鴛子・後川線	1971	19.8			← → 床版:防水工		← → 定期点検					← → 定期点検
52	中西橋(56号線)	1169号線	1973	21.5		← → 主部材:塗装等			← → 定期点検			更新	← → 定期点検	← →
53	霜平橋(20号線)	下田・高田線	1985	23.3		← → 主部材:塗装等			← → 定期点検					← → 定期点検
54	川面橋(17号線)	真弓・千保線	1972	23.5		← → 主部材:塗装等			← → 定期点検					← → 定期点検
55	金吾橋(4号線)	鴛子・後川線	2001	28.5					← → 定期点検					← → 定期点検
56	不動橋(57号線)	1169号線	1972	35.7			← → 主部材:塗装等		← → 定期点検					← → 定期点検
57	鷹ノ巣弁天橋(74号線)	1192号線	1999	41.0				← →	← → 定期点検 主部材:断面修復等					← → 定期点検
58	加畑橋(61号線)	1190号線	1973	48.7			← → 主部材:塗装等		← → 定期点検	← → 床版:防水工等				← → 定期点検
59	一本ノ内橋(73号線)	1317号線	1996	68.0					← → 定期点検					← → 定期点検
60	平田大橋(9号線)	千五沢・吹通線	1972	130.0	← → 主部材:塗装等				← → 定期点検					← → 定期点検
61	空釜跨道橋(75号線)	1315号線	2009	23.1					← → 定期点検					← → 定期点検
62	草場橋(6号線)	1327号線	1978	12.0					← → 定期点検	← → 主部材:断面修復				← → 定期点検
63	佐吉橋(2号線)	鴛子・後川線	2000	10.1			← → 主部材:断面修復		← → 定期点検					← → 定期点検
64	沢名橋(28号線)	1037号線	1987	5.2					← → 定期点検					← → 定期点検
65	41号線	1084号線	1999	2.1					← → 定期点検					← → 定期点検
66	77号線	村道1037号線	2009	2.6	← → 定期点検					← → 定期点検				
67	1号線	鴛子・後川線	1987	2.3	← → 定期点検					← → 定期点検				
68	山鶏の滝橋(60号線)	1187号線	2013	15.8	← → 定期点検					← → 定期点検				
合 計 (千円)					27,272	28,097	27,050	27,069	27,307	27,479	28,011	30,306	30,306	30,304